

ポイント制度の導入による オリパラ大学連携協定の促進

2018年10月27日,28日

亜細亜大学 石黒ゼミ Cグループ

○山田 怜央 大沼 明梨 小川 早百合 関根 歩美

東京2020を盛り上げるために
私たちは **ピクポ** を提案します！



アウトライン

- ① 緒言・はじめに
 - ① 大学とオリンピックの関係
 - ② 組織委員会が連携大学に求めること
 - ③ 連携大学の現状
 - ④ 目的
- ② 調査方法
 - ① アンケート調査
 - ② 質問項目
- ③ 調査結果
- ④ 考察
- ⑤ 政策提言
- ⑥ まとめ

緒言・はじめに

1. 大学とオリンピックの関係

2020年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会



2014年6月23日

全国の大学・短期大学に協力を要請

それに応じた学校と**連携協定**を締結

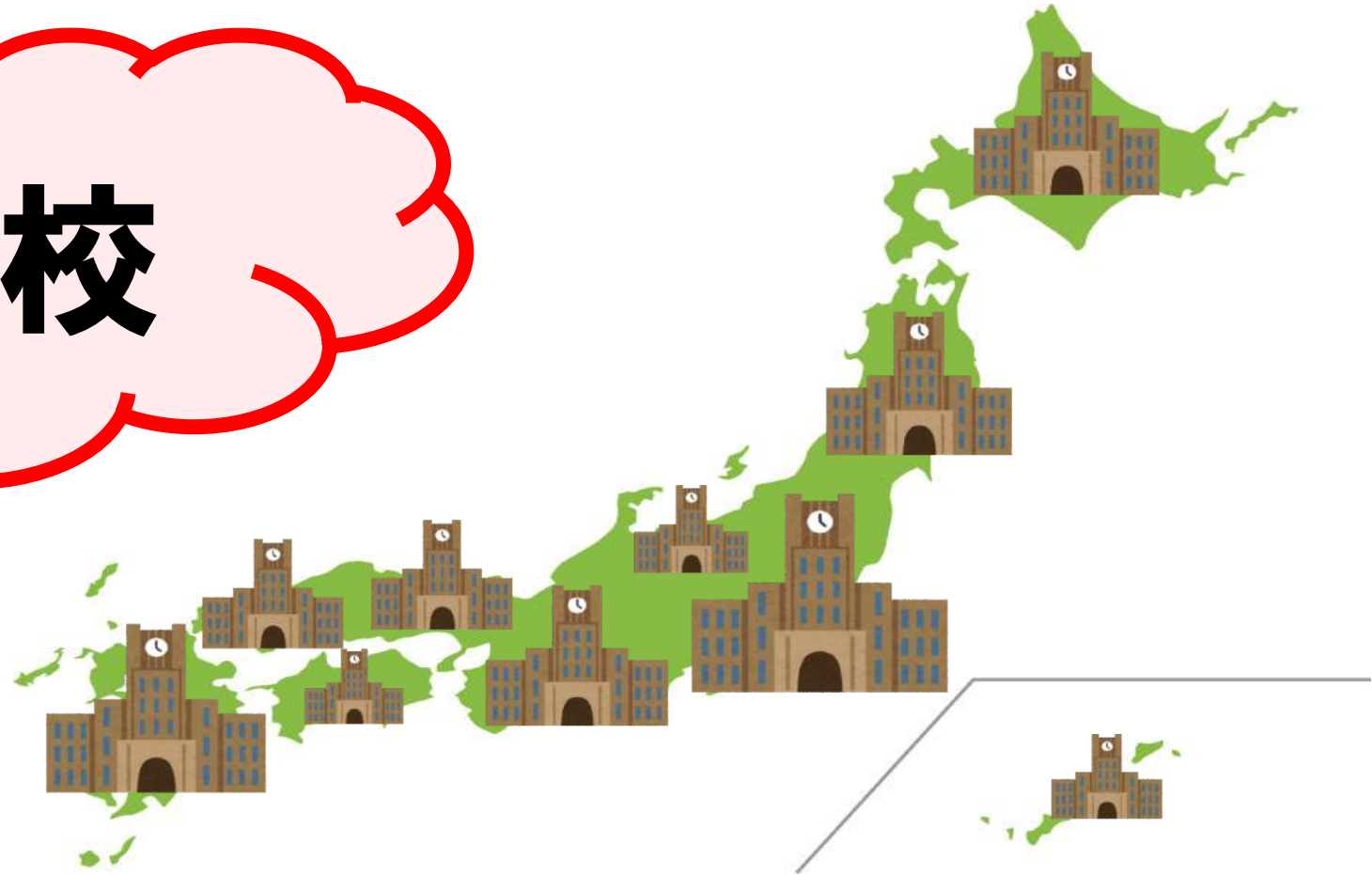


連携協定の目的

- ✓ **オリンピック・パラリンピック教育の推進やグローバル人材の育成**
- ✓ **各大学の特色を生かした取り組みを進めていくこと**

9月1日現在、連携協定を結んでいる大学は…

805校



2. 組織委員会が大学連携に期待すること

- 1. 地元小中高等学校へのオリンピック・パラリンピック教育の支援**
- 2. 各種ボランティアの養成**
- 3. 文化プログラムの担い手**
- 4. 事前キャンプへの協力**
- 5. 大会機運の醸成**

3. 連携大学の参加状況

45校

出張講座プログラム

212校

連携大学担当連絡会

118校

イベントキャンペーン

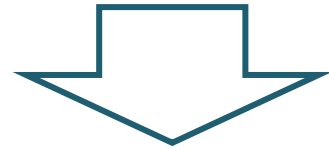
387校

地域巡回フォーラム

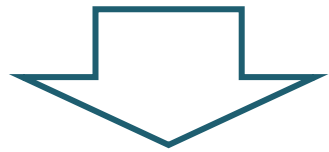
締結式・シンポジウム

以上より…

大学の参加が少ない



大学による自主活動が少ない？



活動する学生も少ない？



目的

- **連携協定を結んでいるにも関わらず多くの大学の活動実績が少ない理由を調査**
- **各大学・学生が盛んに活動できるような新しい政策を提言する**



調查方法



アンケート調査

調査目的: 連携協定を結んでいる大学の活動実態を明らかにし、実施校の意見の把握をする。

調査対象: 都内にある私立中規模大学22校

調査方法: FAX、メールでのアンケート回収

調査項目: 全6問選択式

依頼数: 22校 **回収率:** 12/22校(54.5%)

質問項目

連携協定を結んだ
最も強い理由

これまで受けた
アプローチ

組織委員会が連携
大学に期待してい
る項目の内容を
認知しているか

各年度に
実施した活動

活動していない
もしくは
できない
最も強い要因

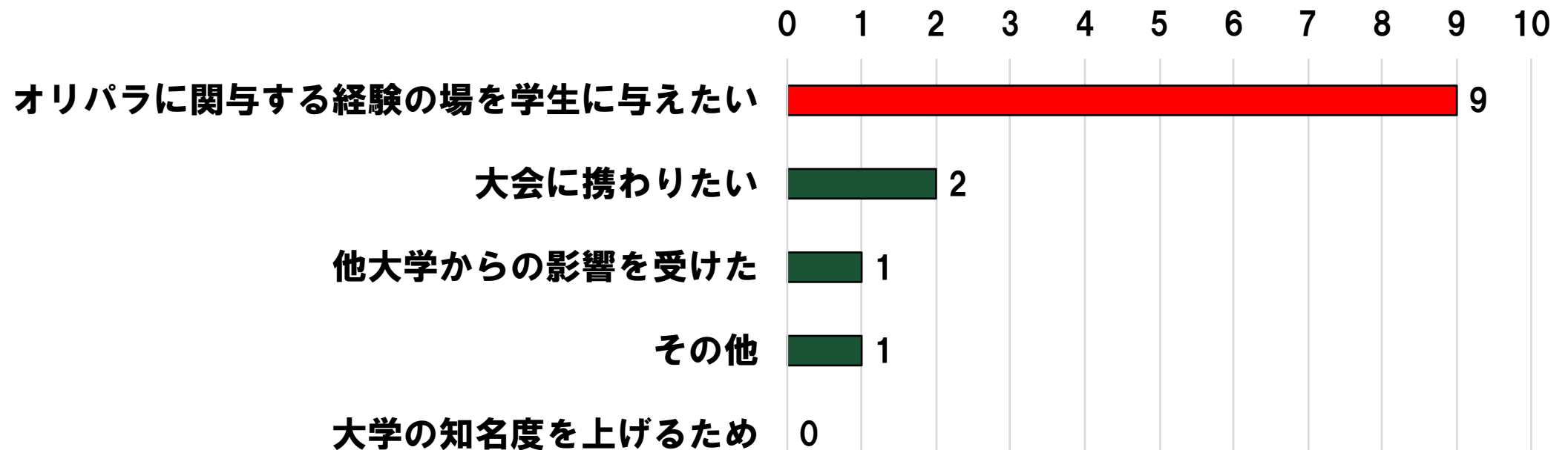
オリンピック・
パラリンピック
関連の組織に
求めること



調查結果

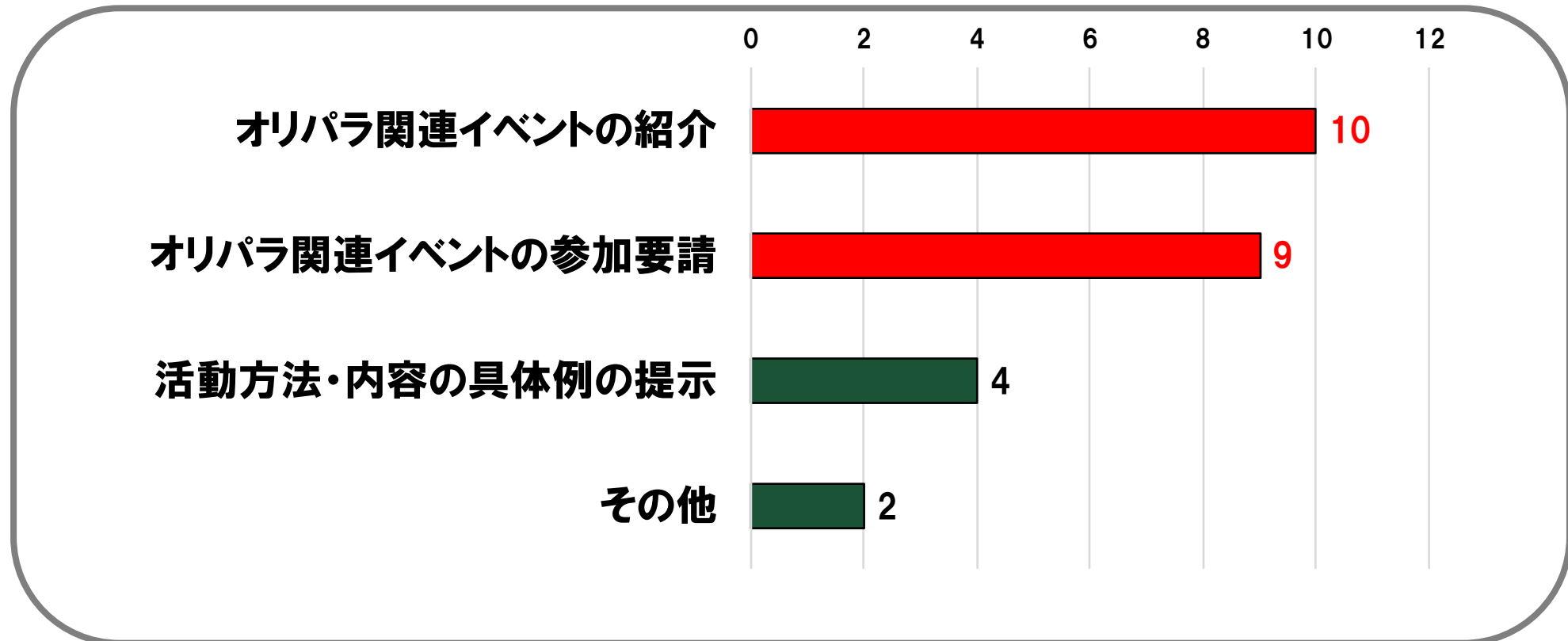
調査結果

◎組織委員会と連携協定を結んだ理由



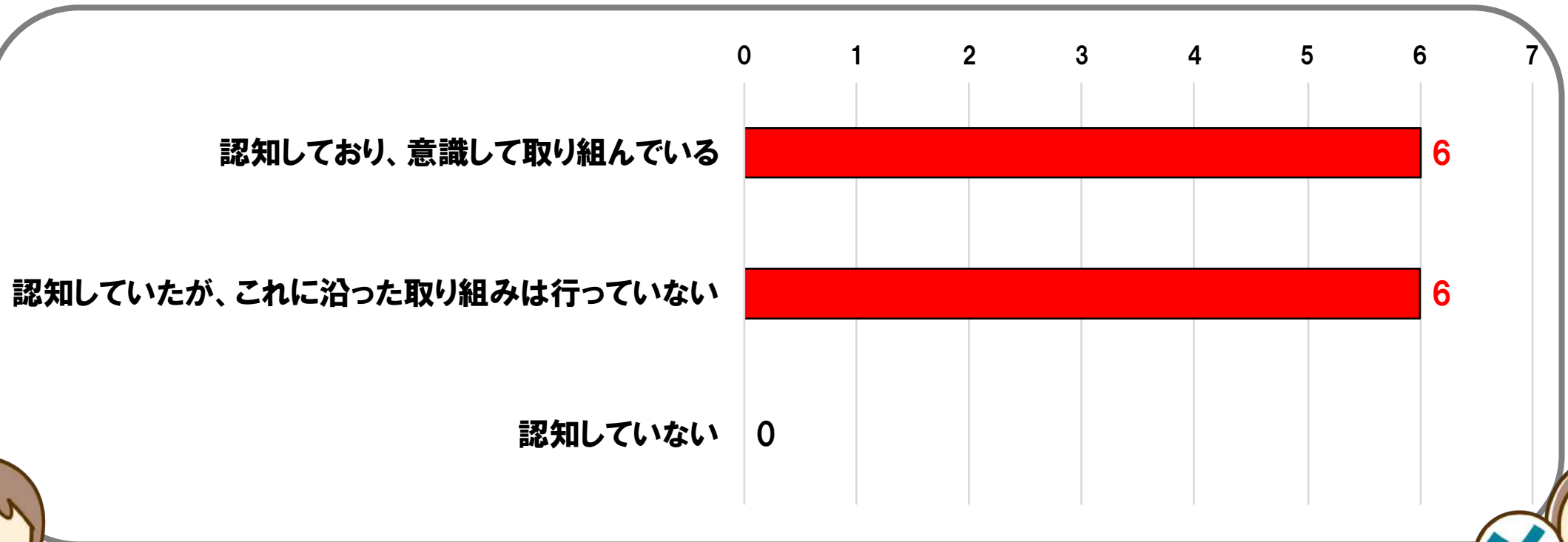
調査結果

◎組織委員会からこれまでに受けたアプローチ



調査結果

◎組織委員会が連携大学に期待することの内容の認識



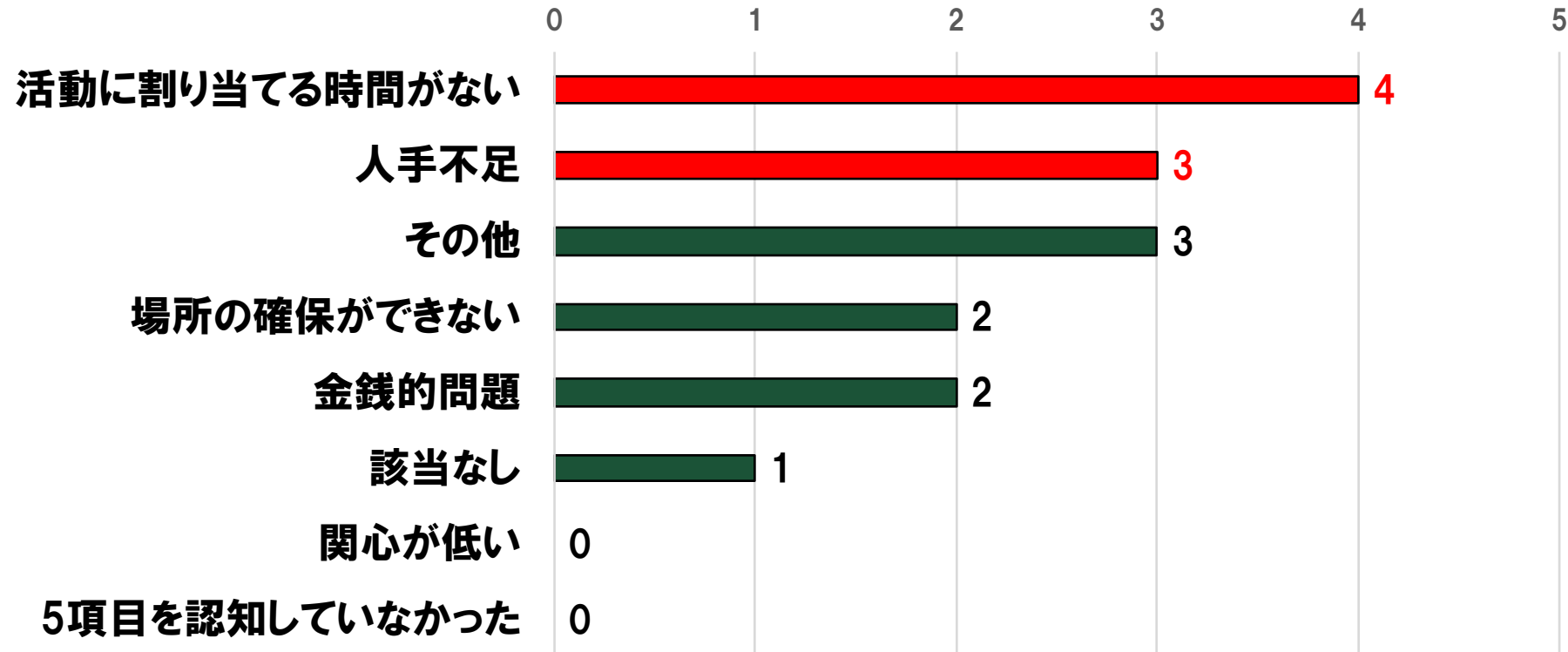
調査結果

◎大学連携協定締結後の各年度に、5項目に当てはまる活動を実施した学校数

	①オリパラ教育の支援	②ボランティア養成	③文化プログラムの担い手	④事前キャンプへの協力	⑤大会機運の醸成
平成26年度	3	2	1	0	2
平成27年度	3	2	1	0	3
平成28年度	3	2	3	0	5
平成29年度	4	5	4	1	8

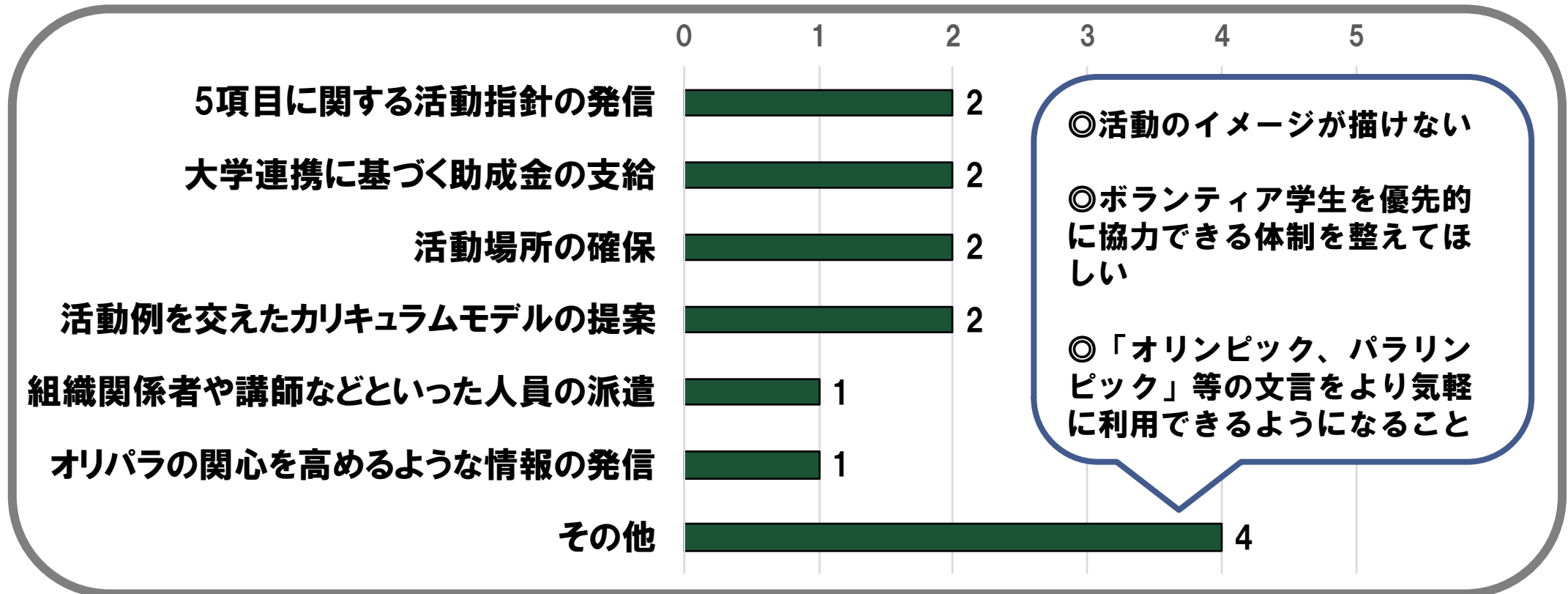
調査結果

◎組織委員会が連携大学に期待することにおいて活動しない、もしくは出来ない要因



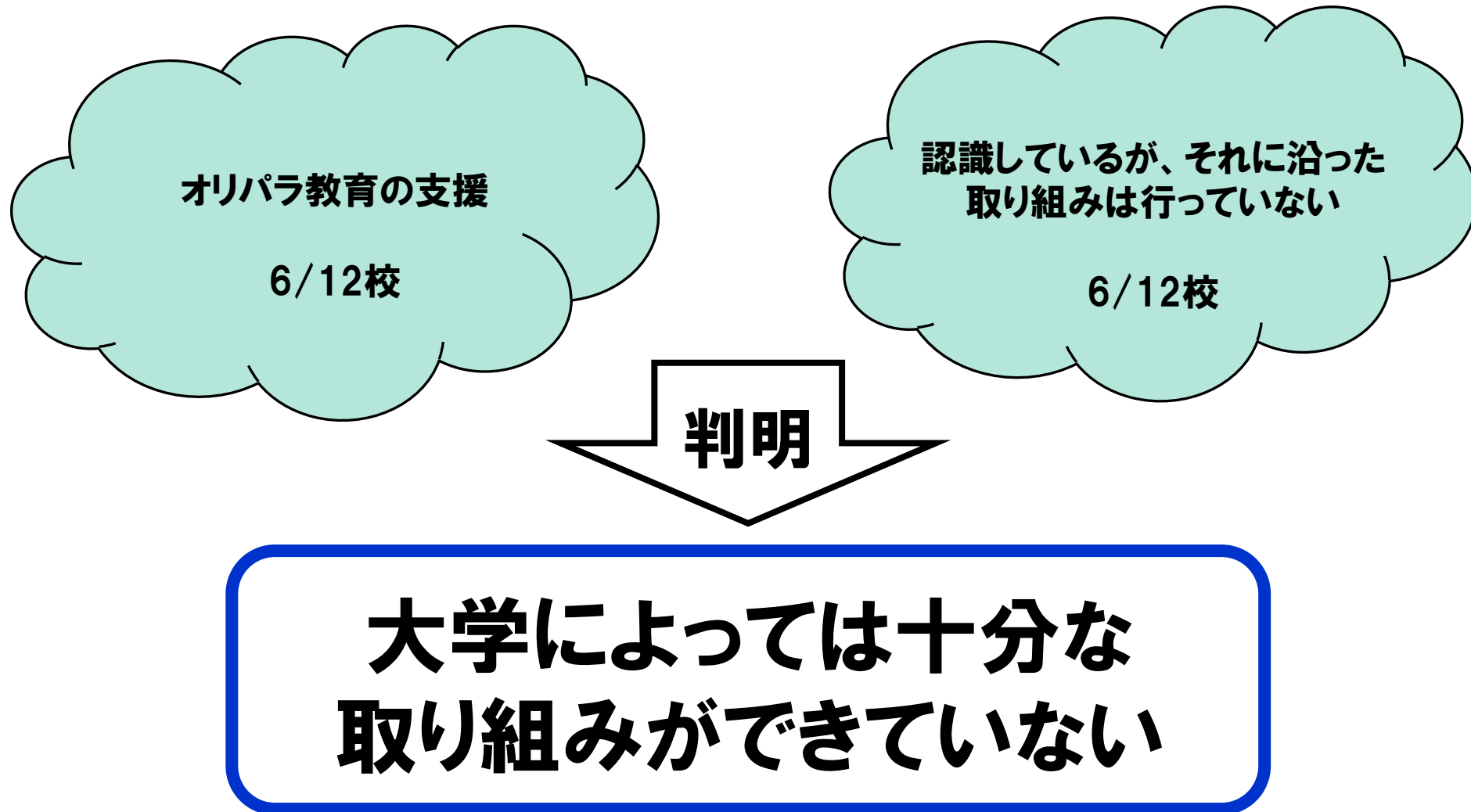
調査結果

◎今後、活動を推進させるために組織委員会をはじめとするオリパラ関連の組織に求めること



考察

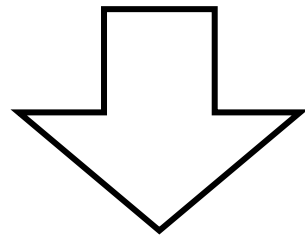
アンケート調査の結果から…



アンケート調査の結果から…

学生も

関連イベント等の認知・参加ができていない状況だといえる

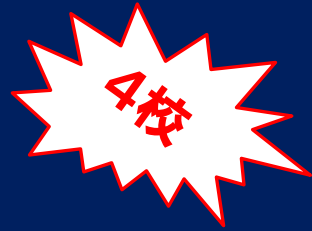


原因は？



原因

時間不足



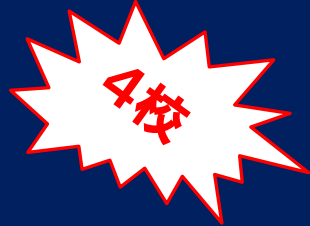
原因



人手不足



課題①



時間不足



人手不足

しかし…

各大学自らが持つ力では早期解決が難しい

課題②

活動の方法や具体例の
提示を受けた大学が少ない



つまり…

活動方法が分かっていない
= 活動プランの設計ができないのでは？



- ①短期的には解決が難しい（時間・人手不足）
- ②活動プランの設計ができない

これらを解消する制度を組織委員会が導入



組織委員会に期待されている活動ができる！

政策提言

学生の活動促進ポイント制度 「ピクポ」

ピクポ

オリン**ピック**・パラリン**ピック** **ポ**イント制度



クポ

概要

運営母体

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

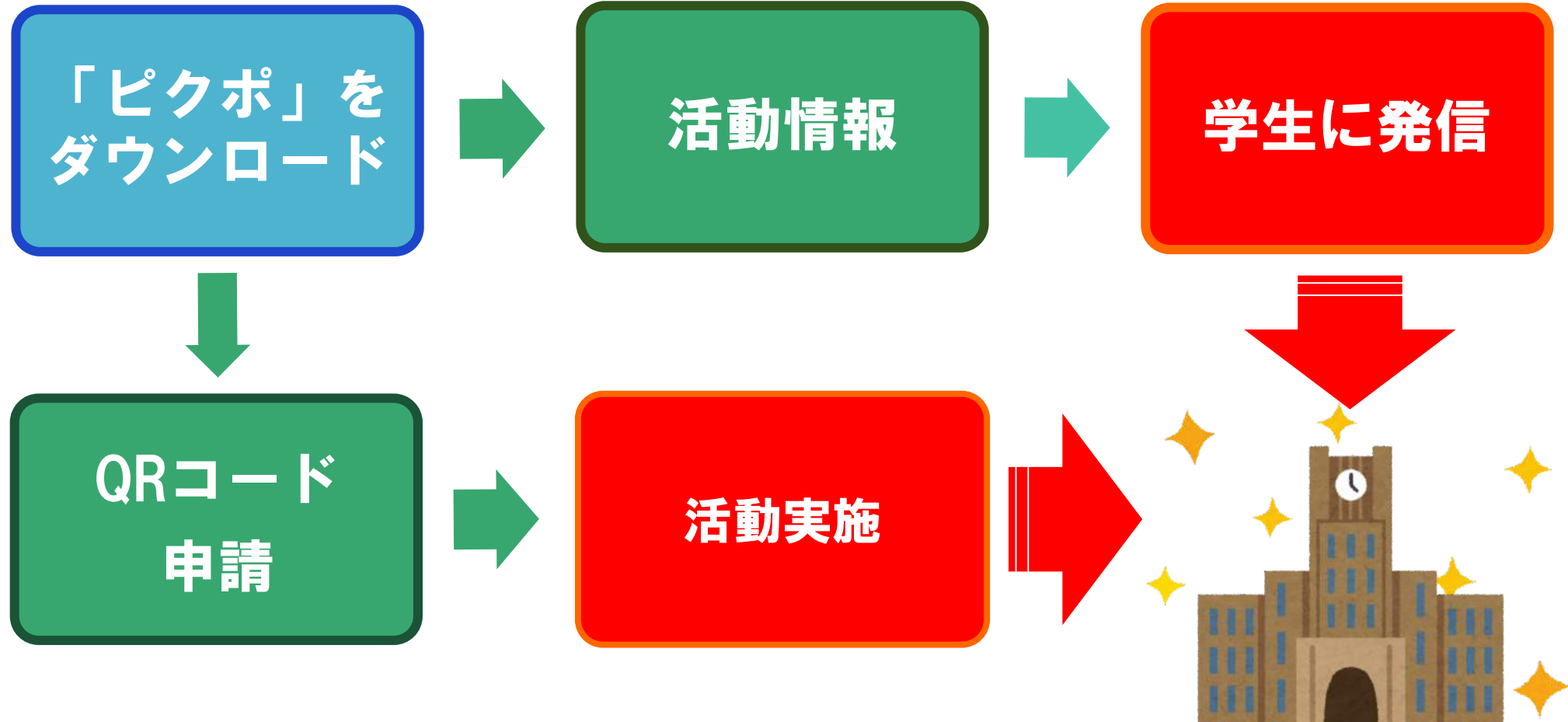
役割

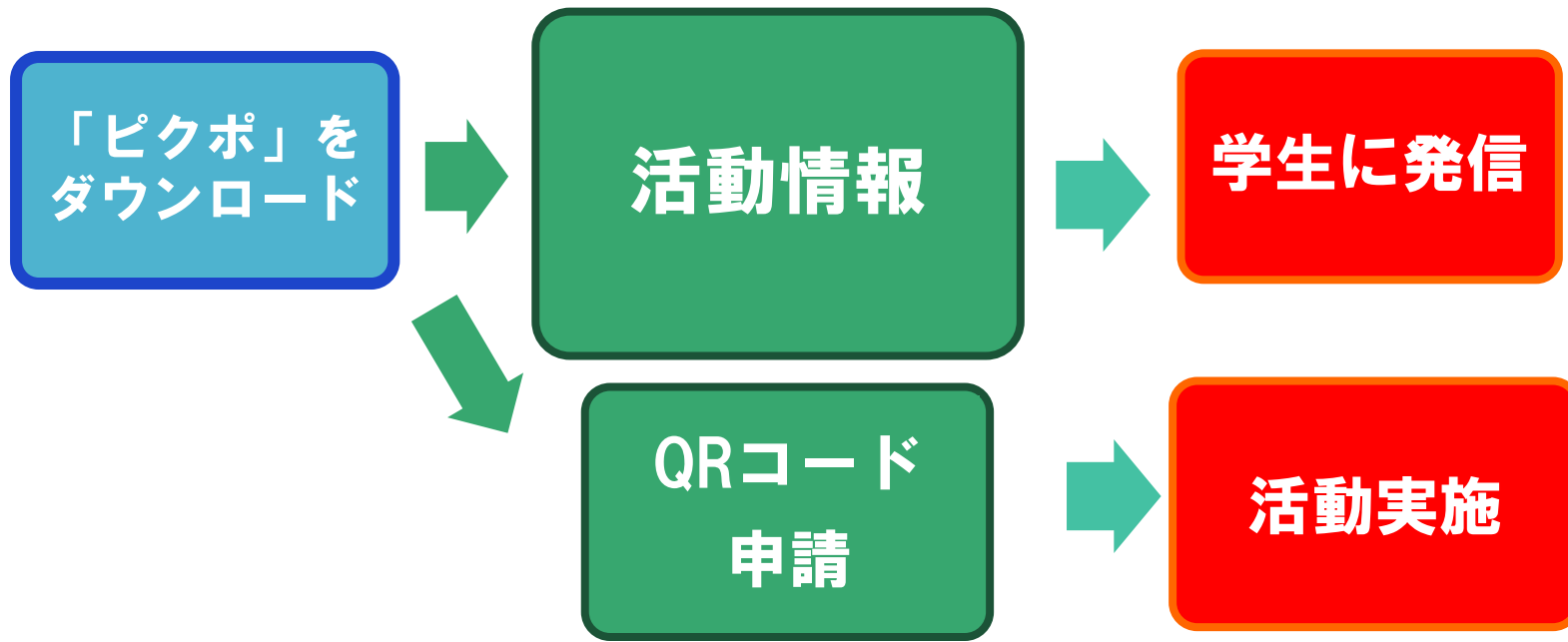
大学・学生自身が活動を気軽に行える仕組みづくり

方法

スマホアプリ「ピクポ」

大学

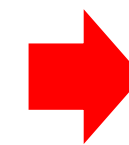




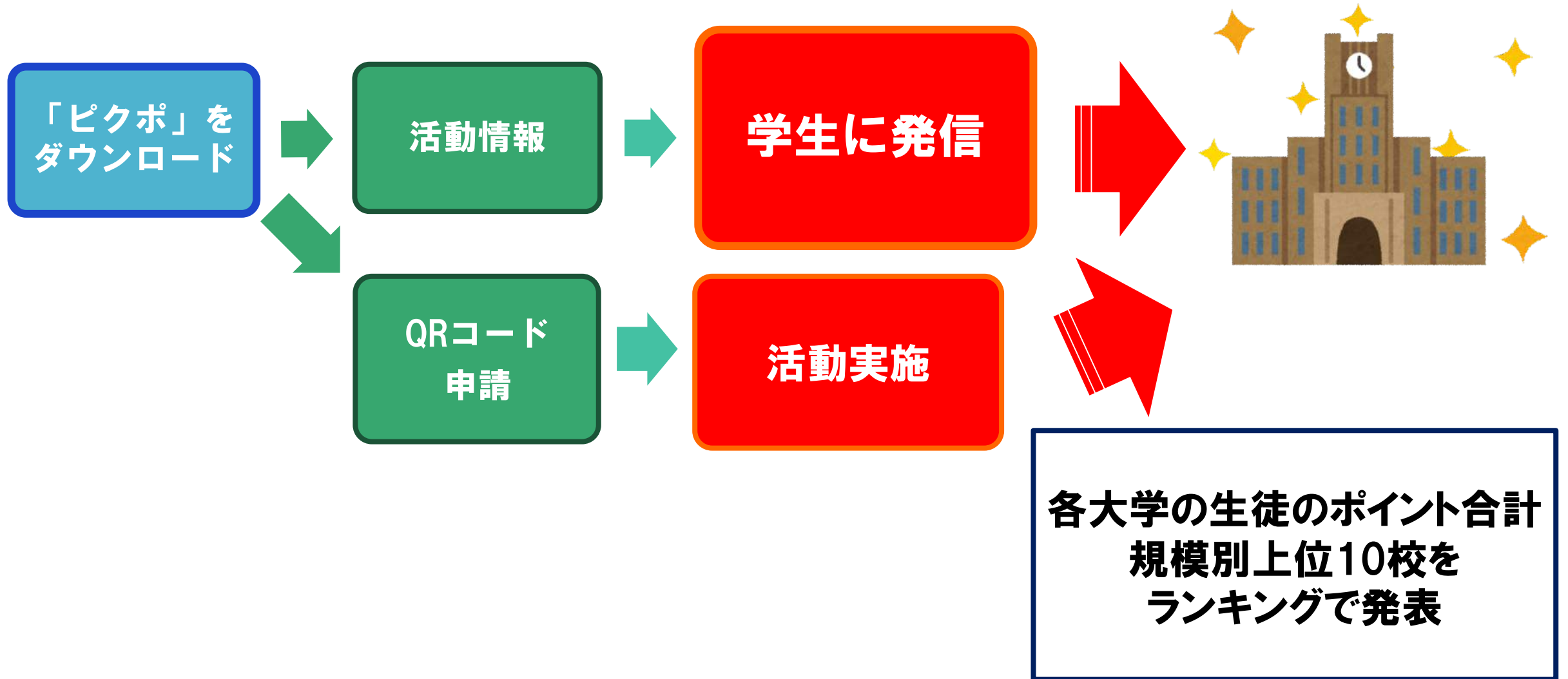
<組織委員会開催活動>
・ イベント・キャンペーン
など

<学内>
・ 授業・講義
・ 研究
など

<東京2020参画プログラム>
・ 組織委員会運営
・ 全国の街・地域で開催
・ 8つのテーマ



学生に情報を提供し参加を促す



学生

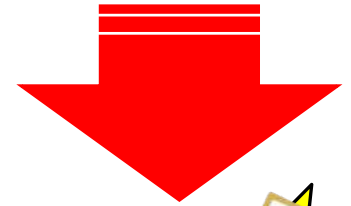
「ピクポ」を
ダウンロード



活動に
参加



ポイント
GET!



「ピクポ」を
ダウンロード



活動に
参加



ポイント
GET!

<登録事項>

- 氏名
- 大学名
- メールアドレス
- 好きな競技
- 住所
- 電話番号

<ピクポ内でみれるもの>

- 組織委員会が連携大学に求めること
- 活動情報
- 組織委員会開催活動の生中継・タイムシフト



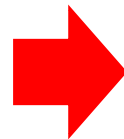
<組織委員会開催活動>
・ イベント・キャンペーン など

<学内>
・ 授業・講義
・ 研究 など

<東京2020参画プログラム>
・ 組織委員会運営
・ 全国の街・地域で開催
・ 8つのテーマ



エントリー



会場受付で
QRコードをスキャン





<ランキング掲載>

- 学校規模別
- ポイント数上位者
- 景品を貰える

<ランキング外>

- 抽選
- 景品と交換

<景品>

- グッズ
- 好きな競技の観戦チケット
サイン色紙

学生のメリット



気軽にさまざまな活動に参加できる

観戦チケット
出場選手のサイン等がもらえる！

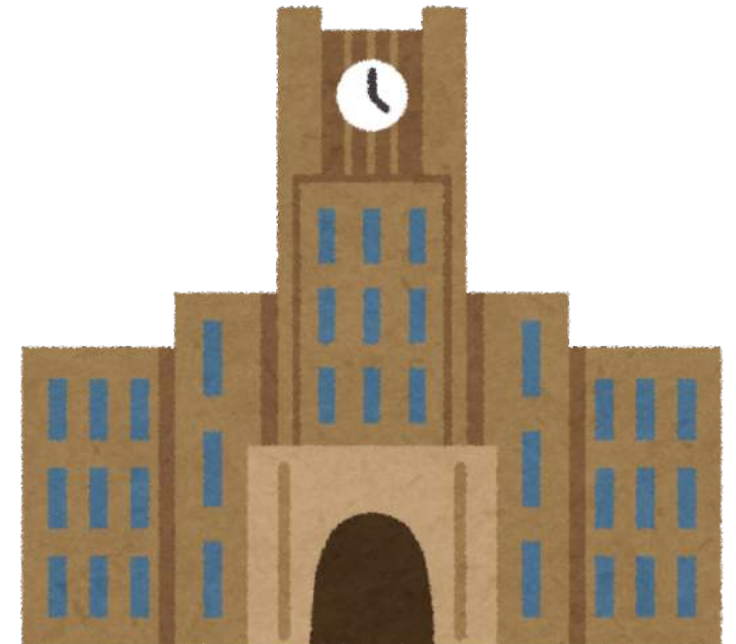
みる側 ささえる側
として大会に関われる！

大学のメリット

時間・人手不足が解消される

学生の活動機会が増える

学校のPRにもつながる！



組織委員会のメリット

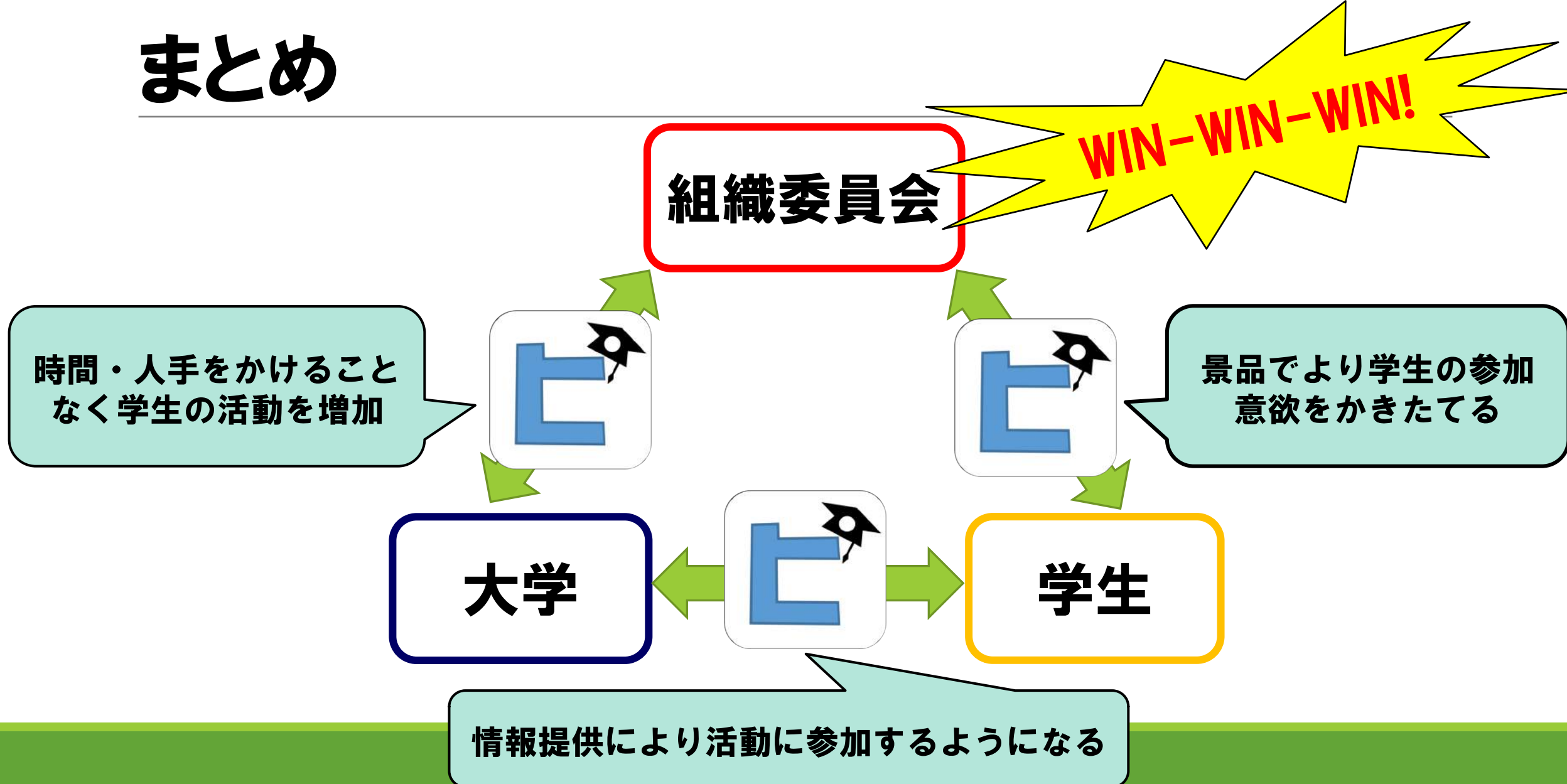


活動参加者が増える

参加者・参加校が把握しやすくなる

学校・生徒へのアプローチが簡単になる

まとめ



参考文献

文部科学省,学術情報基盤実態調査「規模別大学一覧表」(2018年7月閲覧)

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2018/03/23/1280065_16.pdf

師岡文男「全国大学体育連合と会員校における東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての取り組み」(2018年9月閲覧)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspehss/66/0/66_15/_pdf/-char/ja

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「活動報告」(2018年7月閲覧)

<https://tokyo2020.org/jp/get-involved/university/activity/>

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「協定連結大学一覧」(2018年7月閲覧)

<https://tokyo2020.org/jp/get-involved/university/list/data/latest-list.pdf>

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「資料3オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議(第3回)」(2018年7月閲覧)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/024/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2015/07/03/1359320_03.pdf

東京2020参画プログラム(2018年9月閲覧)

<https://participation.tokyo2020.jp/jp/>

ご清聴ありがとうございました！

活動区分	主な活動内容	活動大学数	実施率
		(B)	(B/A)
授業・講義	オリンピック・パラリンピック全般、障がい理解	225校	28.60%
市民講座 (シンポジウム)	オリンピック・パラリンピック全般、障がい理解	93校	11.80%
研究	オリンピック・パラリンピック全般、障がい理解	36校	4.60%
イベント	スポーツ教室、文化行事	123校	15.60%
地域連携	地域スポーツ大会へのボランティア派遣、地元の祭への参加	157校	20.00%
教育支援	オリンピック・パラリンピック教育における小・中学校等への講師派遣	43校	5.50%
広報	のぼり旗の掲出、学報等における大学連携活動の紹介	316校	40.20%
その他	各大学の特色を活かした活動	100校	12.70%
合計		1,093校	-

※複数の活動をしている大学もあるため、合計は回答大学数と一致しない
 ※実施率は、活動大学数(B)を、対象大学(依頼大学)786校(A)で割って算出